



阿南北部第1高齢者お世話センター
今川 聡士さん

今川 阿南市では住民の30パーセント以上が65歳以上の高齢者となっているため、センターに寄せられる相談件数は年々増えています。介護保険制度は高齢

総合相談支援業務では、地域の皆さまからどのような相談が寄せられていますか。

相談業務が全ての基本

川島 センターの業務内容は非常に多岐にわたりますが、阿南市では総合相談支援業務に特に力を入れています。地域の皆さまにとって最も身近な相談窓口となるよう、市や介護保険事業所、医療機関等とも連携しながら業務に当たっています。

高齢者お世話センターの主な業務

総合相談支援業務 地域住民の各種相談を幅広く受け付けて、制度横断的な支援を実施します。

権利擁護業務 成年後見制度の活用促進や高齢者虐待への対応などにより、高齢者の権利を守ります。

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 地域のケアマネジャーに対する個別指導や支援困難事例等への助言、「地域ケア会議」を通じた自立支援型ケアマネジメントの支援等を行います。

介護予防ケアマネジメント業務 要支援者、総合事業対象者に対するケアプランの作成等を行います。



ポイント

者の方やその家族の方にとって分かりにくく感じられるためか、制度についての相談をいただくことが非常に多いです。介護保険は医療保険と違い、要介護認定等を受けなければサービスを利用することができません。そこで、デイサービスやヘルパーといった介護保険のサービスを

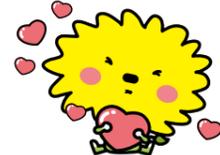


高齢者が生きがいを持って暮らせる地域づくり

相談業務のようす

特集

あなたのそばに寄り添う 高齢者お世話センター



わが国は世界でも有数の長寿国であり、平均寿命は男性80・98歳、女性87・14歳と、ともに世界第2位の水準となっています（2016年現在）。高齢者の方がいつまでも生きがいを持って暮らし続けられるよう、阿南市ではあたたかい地域社会づくりに向けた各種取組を推進しています。そうした取組の中核となるのが高齢者お世話センター（地域包括支援センター）です。

高齢者お世話センターは、介護保険法の規定に基づき本市が設置する施設です。平成18年4月の制度開始以来、市内6カ所の社会福祉法人に業務委託するかたちで運営しています。

「阿南北部第1高齢者お世話センター」の社会福祉士 今川聡士さんと「阿南北部第2高齢者お世話センター」の社会福祉士 川島颯記さんに高齢者お世話センターの活動についてお話を伺いました。



阿南北部第2高齢者お世話センター
川島 颯記さん

利用したいときは、地域の皆さまと介護保険制度との橋渡し役として、センターを活用していただければと思っています。

川島 とても悲しいことなのですが、地域の方から高齢者虐待についてのご相談を受けることもあります。そのような場合にはセンターの職員だけでなく、市や保健所、警察等の関係機関が一体となって当事者の支援に当たります。もし身近なところに虐待等で困っている方がいらっしゃったら、担当のセンターにご連絡をお願いします。

今川 阿南市では住民主体による介護予防活動の場として、昨年度から「いきいき100歳体操」と「あななんサロン」の事業を推進しています。地域の皆

高齢者お世話センターの業務とは

高齢者お世話センター（以下、「センター」と表記します）ではどのような活動をされていますか。

今川 センターは正式名称を「地域包括支援センター」といい、高齢者の皆さまが住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、高齢者に関わるさまざまなことについて、包括的に支援を行っています。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）といった高齢者福祉の専門職がそれぞれの専門性を生かしながら「チーム」として活動することにより、高齢者のさまざまな悩みごとに対応できる体制を整えています。

さまが定期的に集まって交流することは、毎日の生活に楽しみが生まれるだけでなく、お互いに助け合う地域づくりにもつながります。このような活動に参加したいとか、自分たちで活動のグループを立ち上げたいときなどには、センターが支援しますのでご相談ください。

川島 最近では、認知症についてのご相談をいただくことが多くなりました。認知症は適切な治療を受けることでその進行を大幅に遅らせることができるた



いきいき100歳体操

め、初期における対応が非常に重要になります。認知症の方やそのご家族の方は、常に不安や戸惑いを感じながら過ごされていきますので、そうした気持ちに寄り添った支援をしていきたいと思っています。

今川 認知症の方が住み慣れた地域において尊厳を持って暮らし続けていくためには、周囲の方々の理解が不可欠です。センターでは市民の皆さまを対象に「認知症サポーター養成講座」等を開催し、認知症に対する正しい知識の普及啓発に取り組んでいますので、皆さまぜひ参加してみてください。



認知症サポーター養成講座

高齢者が生きがいを持って暮らせる地域づくりに向けて

センターにおける今後の活動方針や課題について教えてください。

今川 いわゆる団塊の世代の全ての方が75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けて「地域包括ケアシステム」を深化させ、推進していくことがわが国の課題となっています。阿南市においては、全国平均を上回るスピードで高齢化が進展すると考えられるため、センターには従来の介護保険制度の枠組みにとられない支援のあり方が求められていると思います。



訪問相談の様子

いきいき100歳体操

重りを使って行う簡単な介護予防の体操です。週1回、35分程度の体操を行うことで高い介護予防の効果が見込めるため、市内各地で活動の輪が広がっています。



ポイント

あななんサロン

地域の高齢者が集まり、茶話会などの交流を行う場です。生きがいづくりや閉じこもりの防止、地域における見守りの強化といった効果が期待されています。

地域包括ケアシステム

高齢者が重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制づくりが求められています。高齢者を取り巻く実情は地域によってさまざまであることから、各市町村は、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムを構築していくことが必要とされています。

る場についてのニーズなどがあります。阿南市は行政区域が広く、都市部や農村部、山間部といった地理的特性もさまざまなので、それぞれの地域に特有の課題やニーズが存在していると考えられます。阿南市では地域ごとにセンターが6カ所設置されているので、それぞれの地域に根ざした支援活動が可能とな

っています。このような阿南市のセンター独自の強みを生かしながら、地域課題やニーズを把握し、その解決に向けて取り組んでいます。

今川 地域づくりへの取組の基礎として、センターではまず地域の「ネットワーク化」に重点を置いた活動を行っています。皆さまが生活している「町内」

程度の小さな地域を単位として「小地域見守りネットワーク会議」を開催し、地域の皆さまが自分たちの暮らす町内の一人暮らしの高齢者や認知症の方など、支援が必要と思われる方々の情報を共有しながら、それぞれの地域の中で見守っていく体制づくりをしています。

川島 一人暮らしの高齢者や認知症の方たちは、地域とのつながりが希薄になってしまいう傾向にあります。そのような方々を「いきいき100歳体操」や「あななんサロン」等の活動グループにつなぎ、安心で生きがいのある生活を送ってもらうことがこれからの課題だと考えています。

今川 地域の皆さまの話し合いの中から、地域に共通する課題やニーズが見えてきます。「ご近所デイサービス」のように、地域の方の活動から新しいサービスの創出につながった例もあります。地域づくりの主役は地域で暮らす皆さまですので、ぜひいろいろな視点から積極的にご意見をいただけたらと思います。

最後に、センターの活動におけるお二人の抱負をお聞かせください。

今川 「その人らしさ」、「地域のために」をモットーに、誰もが暮らしやすいまち「阿南」をめざす一端として頑張っていきます。

川島 地域の皆さまと顔の見える関係を築き、より身近で気軽に相談ができる場所とされるよう精一杯努めていきます。

小地域見守りネットワーク会議

おおむね民生委員の担当地区ごとに、地域住民による見守りネットワークを構築し、情報共有のための会議を定期的で開催しています。閉じこもりや虐待、認知症のおそれのある高齢者等を地域で見守っていく体制を整えるとともに、地域に固有の課題を発見し、その解決に向けた話し合いを行う場としての役割もあります。



ポイント



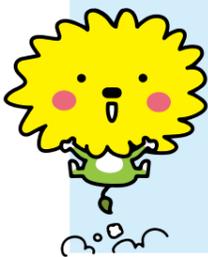
ご近所デイサービス

住民をはじめとする地域の多様なボランティア活動主体が、その地域の高齢者に向けてサービス提供を行うデイサービスです。身体の状態が比較的自立に近い方を対象に、「いきいき100歳体操」をはじめとする介護予防活動を実施しています。6月現在、市内に5カ所の「ご近所デイサービス」があり、それぞれの地域において特色ある活動に取り組んでいます。

「いきいき100歳体操」や「あななんサロン」等の活動グループにつなぎ、安心で生きがいのある生活を送ってもらうことがこれからの課題だと考えています。

今川 地域の皆さまの話し合いの中から、地域に共通する課題やニーズが見えてきます。「ご近所デイサービス」のように、地域の方の活動から新しいサービスの創出につながった例もあります。地域づくりの主役は地域で暮らす皆さまですので、ぜひいろいろな視点から積極的にご意見をいただけたらと思います。

本市では、高齢者お世話センターの機能をさらに強化するため、市内6カ所のセンターの総合調整や技術支援、指導監督等を行う「基幹型地域包括支援センター」を平成31年度に設置する予定です。「住み慣れた地域で支え合い、すべての人がいきいきと輝き暮らし続けられるあたたかい地域社会の実現」を目標に、本市の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでまいります。



阿南高齢者お世話センターのご案内

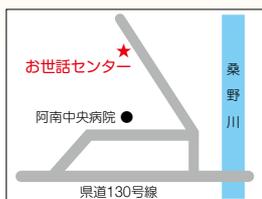


阿南東部高齢者お世話センター



宝田町今市金剛寺43番地
電話 22-4577
担当地区 富岡、宝田、中野鳥

「相談して良かった」と思っていただけ
けるよう、心を込めて相談に乗ります。



阿南中部高齢者お世話センター



見能林町南林260番地7
電話 23-3728
担当地区 見能林、橘、桑野

地域で生活する高齢者の方が安心して
いきいきと過ごせるように、という思
いで取り組んでいます。まずはご相談
ください。



阿南西部高齢者お世話センター



長生町西方59番地
電話 23-5046
担当地区 大野、長生、加茂谷

地域全体で介護予防に取り組み、高齢
者がいきいきと活動できる「地域づく
り・まちづくり」をめざしています。

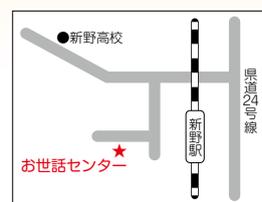


阿南南部高齢者お世話センター



新野町信里65番地
電話 36-3634
担当地区 新野、福井、椿

いろいろな相談や手続、交流、社会参
加など、さまざまな活動の窓口です。
訪問もしますので、どなたでもお気軽
にご相談ください。

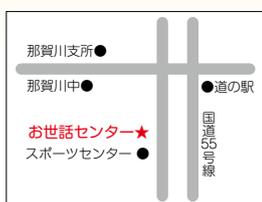


阿南北部第1 高齢者お世話センター



那賀川町苅屋357番地1
電話 42-2900
担当地区 伊島、那賀川、羽ノ浦
(中庄、宮倉除く)

ベテランと若手、3職種が力を合わせ
て気軽に相談でき、地域の方々と共に
地域づくりを行うセンターとして頑張
っていききたいと思います。



阿南北部第2 高齢者お世話センター



羽ノ浦町中庄大知洲8番地1
電話 44-6836
担当地区 羽ノ浦 (中庄、宮倉)

途切れることない支援を行い、住み慣
れた地域で暮らし続けることができる
ように、生活全体を支えます。

